

主催 林能楽会／株式会社唐紅

林定期能改め。

SHITE シテ。

2022年5月28日（土）「朝長」公演



「SHITE シテ。」は観世流シテ方・林喜右衛門家とその門下が100年前から続けてきた能楽の定期公演。

「誰もが能を見ることのできる場所を定期的に提供すること」その思いを引き継ぎながらも、102年目となる2022年、「林定期能」から名称を改め、より多くの方に私たちの舞台を届けるべく始動。改称後2回目となる今回は、平治の乱にて都落ちとなった、源朝長を題材とした負修羅物「朝長」他、をお送りする。

会場は京都観世会館。

問合せ先：株式会社唐紅

E-mail : contact@kara-kurenai.jp Tel : 075-751-8158

<http://hayashiteikinoh.com/>

京観世・林能楽会 団体概要

102周年目の新たな船出。

能愛好家にも、初めて能に出会う方にも。

選べる3種の公演スタイルで送る、月に一度の能の興行。

1920年、大正9年の5月に十一世林喜右衛門幽玄が舞台^{きえもんゆうげんぶたいびら}披きをした時から始まった林定期能は、2022年に100周年を迎えました。

「誰もが、能を観ることのできる場所を定期的に提供すること」

林能楽会は、その変わらぬ想いと皆様への感謝を胸に、次の100年に向けて、より多くの皆様に私たちの舞台をお届けし、お楽しみいただけるよう、月に1度、3つの異なるスタイルの公演を企画していきます。

1. 林定期能改め。「SHITE シテ。」

スタンダードな能公演。能2～3演目、狂言を含む4-6時間を要する上演スタイル。

2. 初心者向け「Kyoto de petit 能（京都でプチ能）」シリーズ

金曜夜、90分で能1演目のみを上演する。丁寧な解説で能の楽しさを気軽に体験できる。

3. 特別な演目を上演する「宗一郎の会」

どうぞご期待ください。

「SHITE シテ。」について

新名称には、観世流シテ方という自分たちの役職を公演名に冠し、その名に恥じぬよう、一門が切磋琢磨しながら能の普及と研鑽に努めたい、という気持ちを込めています。

2022年の「SHITE シテ。」公演は、5回の開催です。

林宗一郎プロフィール



能楽師観世流シテ方。林喜右衛門家の十四代当主。
現在、京都・東京・岡山・鳥取に稽古場を持ち、謡と仕舞の指南にあたる。

1979年京都生まれ。

父・故十三世林喜右衛門、及び二十六世観世宗家 観世清和に師事。

「鞍馬天狗」にて初舞台。

2011年 独立。

2012年「道成寺」披き、これまでに「乱」「石橋」「翁」「望月」「安宅」を披く。

2013年より能楽自主企画公演「宗一郎の会」を開催。

2014年 平成26年度「京都市芸術文化特別奨励者」の認定を受ける。

2017年 マレーシア国交樹立60周年記念公演にて「船弁慶」上演、
岡山では幻の能「吉備津宮」を復曲上演。

京都の歴史的建築を守り伝える活動にも力を注ぎ、歴史的建築・有斐斎弘道館にて定期講座
「能あそび」、関西セミナー修学院きらら山荘内能舞台にて薪能を開催している。

京都観光おもてなし大使。

京都観世会理事、能楽協会京都支部所属。

2020年 重要無形文化財総合認定を受ける。

問合せ先：株式会社唐紅

E-mail : contact@kara-kurenai.jp Tel : 075-751-8158

<http://hayashiteikinoh.com/>